

●ズバリ解説

# 機能する内部通報制度

～偽装や不祥事の芽を事前に摘む仕組みと運用法～

株式会社アルマック・ヘルプライン 和田 新

◆この制度ならではの難しさがある

内部告発によって企業不祥事が次々と発覚している昨今ですが、果たしてその内部告発が起こる前に企業は手を打つことができなかつたのでしょうか。不正や偽装のニュースが毎日のように取り上げられる時代にその予防策として最も注目を集めている仕組みの一つが「内部通報制度」です。大手企業の多くは導入済みと思われませんが、反組織的な行動が伴う通報制度の特徴から運用は難しく、またこれから導入しようとする中堅・中小企業にとっても自社に適した仕組みづくりは容易なことではありません。本稿は、不祥事の芽を事前に摘めるような、本来的に機能する内部通報制度の設計と運用方法を、法律の解釈等を交えながら解説していきます。

## 構成

### 1 不祥事の続発と内部告発

- 1-1 増加する内部告発の脅威
- 1-2 内部告発と内部通報の違い

### 2 公益通報者保護法とは

- 2-1 この法律の要点
- 2-2 早わかりQ&A

### 3 コンプライアンスの実現に向けて

- 3-1 内部通報制度の真の役割
- 3-2 コンプライアンスの実践がカギ

### 4 内部通報の受付方法

- 4-1 通報窓口を設置する
- 4-2 通報を受理する
- 4-3 窓口担当者を決定する

### 5 通報内容の調査方法

- 5-1 調査するかしないか決定する
- 5-2 ポイントを押さえ調査を行う

### 6 是正措置・再発防止策

- 6-1 内閣府のガイドライン
- 6-2 是正措置と責任追及
- 6-3 再発防止に向けて

### 7 通報者のフォロー

- 7-1 処理段階に応じて通知する
- 7-2 不利益扱いを受けていないか確認する

### 8 一層の制度充実のために

- 8-1 社員教育・研修の実施
- 8-2 社外窓口・専門家の利用
- 8-3 価値の理解と風土の醸成